

MELDIA

FREE

VOL.64

NOV.2024

MELDIA 寄贈レポート より豊かな社会生活に向けて 画材セットを寄贈

一般財団法人メルディア 代表理事 小池 信三

その人が生きる場所として
多様な表現を認め合い「アート」を
通じて社会を変えていきたい

studio COOCA

おさんぽ DE 楽しむ!
～横浜・八景島シーパラダイスで
生き物たちの癒し旅～

あとから見れば、「成長したな」と
思える時が来る
『僕の妻は発達障害』

ダウン症の当事者も健常者も

気持ちを明るくする

キャラクターを目指して

03 ダウン症の当事者も健常者も 気持ちを明るくする キャラクターを目指して

06 寄贈レポート
より豊かな社会生活に向けて
画材セットを寄贈

09 障がいがあっても夢は叶えられる。
さらなるモデルの目標に向かって

12 その人が生きる場所として
多様な表現を認め合い「アート」を通じて
社会を変えていきたい

14 あとから見れば、「成長したな」と
思える時が来る

16 誰もが生きがいと充実感を
日々感じて暮らせる社会を目標に

18 障がいのある子ども、毎日明るく笑顔で
暮らしていることを伝えたい

20 気兼ねなく悩みを話せて、家族への接し方が変わってきた

22 メルディアトータルサポート上野にズームイン!!

24 おさんぽ DE 楽しむ!
～横浜・八景島シーパラダイスで生き物たちの癒し旅～

26 美幸先生とたのしむ **ミラクル絵本ツアー** VOL.10

28 明日は「今日以上に健康」であることを目指す大切さに気付いた昨今
水越けいこ M Size はじまり Again

31 読者プレゼント



ダウン症のキャラクター・ニポとなかまたちをご存
じですか?制作したのは、ダウン症の娘さん・
アポちゃんを持つデザイナーのtamako☆さん。
「普通にかわいいキャラクターがいたと思って、
様々な人に付けてほしい。付けたら、
あ、ダウン症らしいと思ってくれたら」と
キャラクターへの想いを
聞かせていただきました。



ダウン症の当事者も健常者も 気持ちを明るくする キャラクターを目指して



ニニヤ
Nina

やると決めたらぜったいやる頑張り屋。
どっしとおしりをつけて
座るのがおきまりのポーズ。
自称おしゃれ美女



ニポ
Niepo

生きているのが嬉しくて楽しくて仕方ない
ニポは、いつも笑顔。水、風、草、動物、...
世界のあらゆるものがともだち。
笑顔のニポのまわりには、
いっぱい笑顔が
集まってきます。



ピーブー
PeeBoo

人のきもちをくみとることが
できるやさしいこ。
また、明るくて楽しくて、
人を笑わせるのが
好きです。

ダウン症のある人の中でも
多様性があることを表したい

2015年にアポちゃんが生まれた
ことをきっかけに、同じくダウン症のお
子さんを持つ友人と制作を始めたとい
う「ニポとなかまたち」。tamako☆
さんによると「娘にダウン症があると
知った時、割とショックはありませんで
した。なぜなら近い友人がダウン症の
あるお子さんを楽しそうに育てていた
ので、うちもあんな感じの子育てが始め
るんだなというイメージでした。私たち
の前職、テレビ局での経験を活かし、楽
しいことをしようという話から、その友
人が主催するイベントの手伝いをする
ことになった時に、気分が明るくなるよ
うなキャラクター作成へと話が纏まっ
たことが始まりです」。どういふキャラ
クターがいいか半年ほど悩みに悩み、ニ
ポが生まれたそう。

「キャラクターを作るからには大勢の人
に愛されるようにという想いがありま
すが、誰々ちゃんに似ている女の子など
になると全然話が変わってしまう。ダウ
ン症は体系的な特徴はありますが、そこ
を強めると、そこへの反発もあると感じ
ました。ダウン症のある人はこういう人
と限定することになるのは良くないな
と。加えて性格や性質を表現しようと考
えたときに人型ではない形に行きつき



ました。そして、ニコニコしている特性や、ずっと一つのことに取り組んでいる特性など、褒められる性格、特徴はダウン症のある人の中でも多様で、それを表せるよう3人組として生まれました」と誕生ストーリーを教えてくださいました。

ニポをダウン症のある人だけのものにはしたくない

「アポもそうですが、この子が果たしてダウン症かどうかということは、重要視するところなのかと常々考えています。スペシャルニーズがある人には、ヘルプがいるシーンはありますが、そうでないシーンに特別な区別をすることは私の中では疑問があります」

に、表紙や挿絵にニポを使っていたいただきました。日頃からパラパラ読みたいたいと思えるように、おうちのリビングに置きたい本になればと思っています。す」。

よかれと思って幅を狭めてしまうことがないように



障がいがあるからと言って、必要以上に区別したくないというtamako☆さん。「アポには兄がいるのですが、彼と何が違うんだろうという感覚で育ててみようと思いました。兄には兄の個性があり、アポの個性の一つがダウン症なだけだと。今アポは小学校3年生で普通級に通っていますが、最近算数が難しくてもうできないと話しています。本人も悔しいと思いますが、気持ちを尊重しつつ勝手に可能性を狭めることはしたくないので、こっちにした方がいいよ

した。ニポを手にとった当事者の方が喜んでくださるのも、もちろんとても嬉しいのですが、「私はダウン症なのでどうこうしてください」というメッセージとして使いたいわけではなく、世の中に流行っている、かわいいキャラクターの一つがダウン症だったみたいの方が嬉しいです。アポは普段から学校にニポのTシャツを着て行くのですが、学校の友達からこれなに？と聞かれると、ママが作ったと言ってくれるようで、そういった時にお友達がかわいいと思ってくれたらいいなって。



ディック・ブルーナさん作・車椅子の女の子の絵本『ろってちゃん』のキャラクターが障がい者支援活動に使われて



いることを知った時は、人に寄り添いつつ、お知らせしつつ、普通に馴染んでいける、この立ち位置をニポにも持たせたいと考えました」と世の中に愛されるキャラクターとなるための想いを話します。

ニポのデビューは2016年に渋谷で行われたパディウォークでした。パディウォークの規模拡大に向け、パレードを見ごたえあるものにするために大活躍。「パディウォークのために作ったわけではなく、今年のキャラクターという形でメインのバルーン以外に公式Tシャツも作りました。パディウォークでデビューということでもメディアにも大々的に取り上げていただきました。当



と必要以上に考えるのも違う気がして、悩ましいところです。しかし、アポちゃんに感じる魅力から願う想いがあるようです。「人が魅力的に生きていく上で学力は一つの指標だと思います。ただ、アポには生きていく逞しさが備わっていると思うんです。というのも、小学1年生の登下校時に2回行方不明になり警察のお世話になった

ことがあります。一つは馴染みのパスタ屋さんに行ったところ、もう一つは家から離れた駅のホームで発見されました。今では笑い話ですが、どちらの場面でも自分で食べ物にありついていて、「あ、ママ来た？」くらいの飄々とした姿に拍子抜けしましたね。今は本人なりの将来の夢があり、そうなるかは別として、アポが持っている個性がどう生かされるかま



事者の皆さんからはお子さんがとても喜んでいたという声を頂きました。他にも、ダンスチームのTシャツをニポにしたいという声や、お揃いでグッズを作りたいという反響が多かったです。ニポたちは、ダウン症の当事者も健常者も気持ちを明るくするとか、障がいがある方ってかわいそうとか諦めがちのようないメージを払しょくするものになれると感じました」とtamako☆さん。



まだまだ分からないな、決めつけたくないなど思っています。そういう意味では長男への想いと一緒ですね。障がいがあってもなくても、その感覚を子に対して持っていたいです」と話します。

7名様 PRESENT

A ニポとなかまたちキーホルダー

詳しくは31ページ

ニポとなかまたち

https://ds-smileproject.amebaownd.com/pages/663591/Niepo_and_friends

tamako☆さん

武蔵野美術大学を卒業後、テレビ朝日に入社。数々の番組セットのデザインなどを手がけた。2008年に独立し、現在はフリーで舞台などのセットデザインやイベントの企画プロデュースなどを行っている。



より豊かな社会生活に向けて 画材セットを寄贈

一般財団法人メルディア 代表理事 小池 信三

「最高の笑顔をあなたに」笑顔・タッチで利用者と職員の関係性を築く

茨城県筑西市にある社会福祉法人征峯会が運営する指定障害者支援施設「ピアしらとり」。
今回はアート活動の可能性を広げたいという思いを持つこちらにメルディアから画材を寄贈いたしました。
早速ノートに絵を描き始める皆さんの笑顔に癒される贈呈式となりました。
贈呈式後は理事長の渡辺和成さんに法人として目指すものについて伺いました。



地域に開かれた施設を目指して

ピアしらとりは38年前、現理事長の渡辺さんの両親が立ち上げたことが始まりです。ご実家の田んぼを法人に寄付し事業を広げていきました。「創設時から、地域に開かれていることを大切にしていたので、父は地元の子供たちとの駅伝大会を実施したり、地域の方を施設に招いたりカラオケ大会や夏祭りを開催したりしていました。そういった地域の方を招くということは、私が継承してからもやっていきたいなと思っています。11月の第2土曜日と日曜日にはしらとりまつりを開催し、地元住民、筑西市民の方々が例年2日間で1万人以上お越しくださいます」と渡辺さんは話します。

アロハシャツが正装

元々は知的障がいのある方の入所施設として始まり、ニーズの多さから一時定員は100名になったといわれています。その後、地域移行の方針からグループホーム事業等が始まり、現在は入所施設は56名、グループホームは66名とおおよそ120名の利用者が生活しています。その後も保護者の方から「親なきあと」が心配なので、高齢者施設、老人ホームを法人で併設できないかと意見をもらいながら利用者の方の様々なニーズに答えられる施設となっていくたそう。「老人ホームは市営のものを民間移譲する話に手を挙げさせてもらって事業参入しました。勉強のため5年間全国の老人ホームを

は着慣れず恥ずかしがっていた職員も多かったですが、今はもうみんな体に馴染んだようです(笑)」と渡辺さん。
笑顔は周りに広がっていく

経営理念は「最高の笑顔をあなたに」。その言葉の通り、施設には笑顔が溢れ、フレンドリーな雰囲気印象的でした。「まずはスタッフが笑顔で明るく挨拶をしよう」というところから始めました。利用者様が笑顔だったら私たちも嬉しいですし、笑顔や明るい挨拶は広がっていきます。開設から38年経っていますので



訪れ、終の住処としてハワイのイメージを固めてきました。南国リゾートにきたようなイメージで最後は楽しんで生活してもらえたらなと。そして、父がアロハシャツを征峯会の正装にしようと言いい、職員も利用者様も普段から着ています。最初



寄贈レポート

一般財団法人メルディア 代表理事 小池 信三

利用者も職員も笑顔に溢れることが印象的なピアしらとり

知的に障がいのある方の長い人生を考えた時に「親なきあと」というキーワードは外すことが出来ません。行く末を考えた時に、福祉施設での生活はどんなものになるのだろうかと不安を感じる声も多く聞きます。今回、寄贈を行った「ピアしらとり」はそんな不安を払しょくしてくれる施設のひとつだと思えます。「笑顔」を理念に掲げ、利用者さんも職員さんも良い関係性で笑顔が溢れる日々を過ごせる施設です。利用者さんが日々取り組むアートを地域の場に提供する事で社会参加の場も創造できています。お贈りした画材で素敵なアートが生まれる事を楽しみにしていますね！
一般財団法人メルディアは全国の素敵な福祉施設をこれからも応援していきます。



モデル・
町田萌香さん
インタビュー

障がいがあっても 夢は叶えられる。

さらなるモデルの目標に向かって

軽度知的障がいがありながらもプロモデルや俳優として活動している町田萌香さん。取材時の雰囲気から一変、撮影となると一気に視線が変わります。なぜモデルになろうと思ったのか？ご本人の話に加え、お母様や事務所の高木さん、結城さんにも話を伺いました。

「高木真理子先生のウォーキングを初めて見た時に目標が決まりました！感動しました。ああいう風に歩きたい、モデルになりたいと思いました。」

写真でのキリッとした印象と違い、取材時は穏やかな雰囲気。高木さん、軽度の知的障がいがあり、会話の一言二言目は大丈夫でもその先になると会話を続けることが大変という思いをこれまでしてきたそうですが、モデルとして堂々と華麗に輝く姿を見せています。なぜモデルになろうと思ったのでしょうか。「実はウォーキングレッスンには14年間通い続けているのですが、22歳の時にウォーキングを指導してくれている高木先生がランウェイで歩いてくる姿を見てとても素敵でかっこいいなと思いつき、そこから今に至ります。ウォーキングを始めた理由は、当時ぼつちやりしていた姿勢も良くありませんでした。そのため母が姿勢改善にと提案してくれて通い始めたことがきっかけです。だんだんと姿勢が良くなり、意識も変わって体重も上下はありながらも少しずつ安定していきました。

モデル活動を始めてからは特に体調管理はもちろん、健康管理にそれまでよりもお金を掛けて気をつけています。毎日運動をして、食事でも栄養素をきちんと補うようにし、メイクはYOUTUBEを見て勉強しています。それまでは美容の字もわからないような人間で

姿勢改善に向けて始めた ウォーキングレッスン

「モデル活動でのやりがいは色々な人に会えることだそう。やはり普段とは違う世界を味わえることは醍醐味のような感じです。やりがいは素晴らしい洋服を着せていただき、メイクやヘアをしていただき、私以外の私になれる時。そこで、皆様からの笑顔を受けたい。ステージに立ちライトが当たるといって快感です。たくさんの方にお会いできる事、ステージをやり遂げた時の達成感など楽しいことばかりです。私にとって素晴らしい時間です。ステージに立つ日は『よし、今日はこういう日だぞ』と家から一歩出たらスイッチが入ります。マネージャーの結城さんによると「普段はほんわかした感じで、スローなゆったり感満載の萌香ですが、モデルのスイッチが入った時や、オーディションに行った時のモデル萌香は、表情が引き締まり、黒豹のようにシャープな目つきでキラキラした表情が美しいですね。シーンに応じて色々な表情を持っていますね。最初に彼女のランウェイを見たときに鳥肌が立ちました。年齢を重ねてさらに深みのあるモ

利用者様の平均年齢も50歳を過ぎていますが、創設者の『家庭的で温かい施設らしくない施設創り』と『地域と共に』をモットーに運営してきましたので、利用者様は大変親しみやすい方が多く、外部の見学者の方がいらした際に『この利用者様はいつも笑顔一杯で明るい方が多いですね』と感想を言われます。職員には常に『利用者様がピアしらとりで暮らすことができると本当に楽しい。ここに来てよかった』と言ってもらえるような利用者様の気持ちに寄り添うことのでき

ることを大切にしたいです。利用者に触れ、対話することを大切にピアしらとりでは「タッチケア」に力を入れていて、新しい支援、タッチケアは利用者様に触れながらご家族の話をしたり、昔の話をしたりするんです。オキシトシンに注目したケア法ですが、オキシトシンは幸せホルモンとも呼ばれ、互いの信頼関係を築く効果があります。普段から利用者様と接する際に取り入れており、これによりコミュニケーションがスムーズになったことを感じますし、講演や研究発表を行う中で評価も頂いています。

この効果は利用者様だけではなく、職員にもあると思っています。世の中には福祉施設での虐待事件が度々ニュースになっていきます。虐待が起こる原因には知識不足や技術不足、そして関係性をうまく作れなかったこと、タッチケアで利用者様に触れることで関係性が近くなったり、良好になったりと虐待の減少に繋がる可能性があることを感じています。こうした技法・技術



る支援をしてほしいとお願いしています。利用者に触れ、対話することを大切にピアしらとりでは「タッチケア」に力を入れていて、新しい支援、タッチケアは利用者様に触れながらご家族の話をしたり、昔の話をしたりするんです。オキシトシンに注目したケア法ですが、オキシトシンは幸せホルモンとも呼ばれ、互いの信頼関係を築く効果があります。普段から利用者様と接する際に取り入れており、これによりコミュニケーションがスムーズになったことを感じますし、講演や研究発表を行う中で評価も頂いています。

社会福祉法人征峯会
指定障害者支援施設「ピアしらとり」
<https://seihoukai-group.jp/>

寄贈品についてのご感想
今回いただいた画材は利用者様の更なる可能性を引き出すために活用させていただきます。当法人では事業推進室を本部に持ち、こちらから発信することにも力を入れています。日中活動で制作したアートを企業様とコラボするなど利用者様の可能性と地域とのコミュニケーションをこれからも拡大させていただきます。

理事長 渡辺和成さん
大学卒業後、静岡の障がい者支援施設で3年、イギリスの障がい者支援施設で1年従事。1999年7月から現職場で従事。2016年に理事長就任。

各1名様 PRESENT

B オリジナルさを織りウォールキャンバス 1名様
C オリジナルデザインマフラータオル 1名様

詳しくは31ページ

を全国に発信し、良質な福祉へ貢献していけたらと思っています」とこれからの福祉の可能性を話してくださいました。

働く・暮らす・老後、包括的に支援できる組織体制

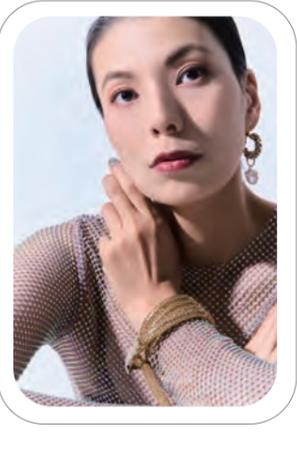
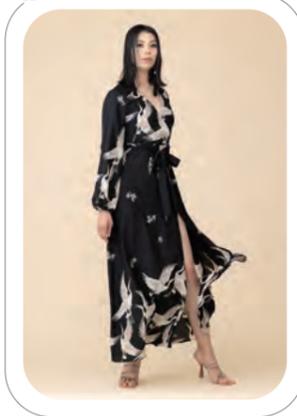
入所施設ピアしらとりのほか、就労継続支援B型事業「パン工房しらとり」、さらには特別養護老人ホームしらとりといった、様々な福祉事業を展開しています。



パン工房しらとりは基本的に利用者の方が陳列・カフェスペース、製造など全面的に自立心を持って働かれています。



ハワイをイメージした内装の特別養護老人ホームしらとり。ピアしらとりから車で10分ほどのエリアに位置しています。



「もう少し障がい者に理解のある社会になってほしい、障がいのあるなしに関わらず色々な人と混ざっていったら」という当事者目線での町田さんの想いと、ともに彼女と伴走する事務所の想いを聞かせていただきました。

町田さんのお母様は「昔は言葉が出ない、服を着替えるのに30分以上かかる、時計が読める様になったのは19才の時です。何か質問しても答えるまで時間がかか

活動実績

Show	その他
2022 和と福の万博2022	2023 【映画】わたしのかあさん-天使の詩-
2022 鳥取県障がい者舞台芸術祭	2021 【講演】LIVES TOKYO 2021
「あいサポートとっとり祭2022」	2021 Special Beauty Japan 2021
ファッションショー	審査員
2022 宮島学園2022翔る	2020 【舞台】くちづけ
2021 パラリンピック開会式	2019 Jewel of Japan 障害者部門
2018 POLAメイク新作発表ステージモデル	グランプリ受賞
2018 SWC fashion show瑞宝太鼓	2017 【映画】あいあい傘
	2017 Special Beauty Japan2017
	ミス部門 グランプリ受賞
	2015 【舞台】くちづけ
スチール	
2022 Just Smile !! 15号表紙	
2020 Just Smile !! 7号表紙	
2017 Just Smile !! 4号表紙	

株式会社グローバル・モデル・ソサイエティー
町田萌香さんも所属する、プロフェッショナルな障がい者モデルを発掘し、多様化するファッション界のニーズに応えるインクルーシブなモデルエージェンシー。
<https://www.gms.tokyo.jp/>



GMS Global Model Society

障がい者モデル募集
お問い合わせはQRコードから



株式会社グローバル・モデル・ソサイエティー主催
ファッションショーの協賛企業
およびアパレルメーカー募集中
お問い合わせe-mail:
gms_pr@g-gates.com



デルとして成長してくれたことが嬉しいです。また、長い時間、親子で頑張ってくれた宝物だと思います」と話します。

取材時のスタイルのこだわりについて聞いてみました。「チュールのあるトップスは黒い色でも柔らかく見せてくれますし、全体を細めに見せてくれるのが気に入っています。普段のスタイル

町田さんのお母様は「昔は言葉が出ない、服を着替えるのに30分以上かかる、時計が読める様になったのは19才の時です。何か質問しても答えるまで時間がかか



はシルエツトに加え、靴とアクセサリーに気を使っています。これから季節は暑さも気にせずオシャレがより楽しめますね」と話します。

障がいがあっても夢は叶えられると知ってもらいたい

モデルとして今日指したいことは何でしょうか。「化粧品やCMや広告、そして海外での仕事に挑戦してみたいです。それから、雑誌の表紙も飾ってみたいですし、TGCにも出演したいです。私が先生や家族の支えを受けながらモデルのお仕事をしたいのは、『障がいがあっても夢は叶えられる』という事をたくさんの方に知ってもらいたいと思っています。そして、応援してくださいという方々に感謝をお伝えしたいです。」



る、そんな萌香が初めてモデルになりたいと思いを話してくれた時はとても嬉しかったです。なりたいたい何かがある！これは凄いです。応援したい。自身に向き合う姿勢はひたむきでした。やりたいことに向かう時、障がい者も健常者も関係なく頑張れるんですね。私たちはすぐに結果を求めてしまいがちですが、そんな事は跳ね除けてしまおうパワーがあると思えました。目標があること、なりたいたい自分になれる事、それに向かって努力できる事は障がいなんて関係なく誰もが持っている才能ではないでしょうか。

たくさんの方々の社会体験をする事が成長に繋がります。障がいがあっても子ども達の可能性はどこまでも広がると思います」と話してくださいました。

モデルの方々を実際に指導する代表の高木さんは障がいがあるから出来ないと思わないでほしいと語ります。「誰でもそうだと思いますが、障がいの有無に関わらず、自分のやりたいことに一心不乱に突き進む集中力は素晴らしいと思います。エンタメではよく言うのですが、1+1は2じゃなくてもいい、3でもいい。感覚で出来ることもたくさんあります。保護者の方が、障がいがあるから出来ない、どうせやっても、とおっしゃったり、お子さんの成長に時間がかかることにしびれを切らして諦めてしまふことが一番残念だと思っています。私たちは1パーセントの可能性にかけ

指導側も1パーセントの可能性にかけてみようと思わない



その人が生きる場所として 多様な表現を認め合い 「アート」を通じて社会を 変えていきたい

平塚市で「アート」を軸に生活介護と就労継続支援B型の事業所を
運営している株式会社 愉快 studio COOCA
(スタジオクーカ、以下クーカ)。代表の関根祥平さんに「アート」を通じて
輝く利用者の皆さんの活動について話を伺いました。



に話しかけて人と関わることに喜びを感じている人もいます。まずは一人一人の様子をよく見て、各々が求めている表現をできる限り保障していきけるように努めています。時には、自分の作品ばかりを案内してしまったり、話に割って入ってしまったといった様子が続くことがあれば、「名刺をまず渡すのはどうか?」「みんなの作品も紹介してみたらどうか?」などモチベーションを活かしながらより良いコミュニケーションの形を相談しつつ模索しています。

考えるきっかけをつくりたいという関根さん。「そもそも選択肢が目前になれば、自分の意思を主張することは難しいと思います。『創作』という活動のベースの中で、作陶、ヨガや農的活動、音楽等も行っています。正直何をやりたいかはつきりわからない人もいます。筆を持つても全員が、画用紙に線を描き始めるわけではない。けれどその状態を『何なのか、常に考えるようにしています。クーカは『考える』ことを大切にしている。組織で在りたいんです。堅苦しいルールはほとんど存在しない。だからこそ常に『どうあるべきか』考えていて、その思想が生む自由な空気感、包容力がこの魅力だと思います。この空間から生まれたものから仕事を得ることに繋げ

アートに特化した 成り立ちを持つクーカ

クーカでは、絵画創作活動を中心とした活動を行っており、施設自体もギャラリーとしての機能を持っています。階段や職員のスペースを含む建物全体でたくさんの作品が飾られています。今回は代表の関根さんにお話を伺いました。「クーカは、前身の福祉施設の中の活動の一つであった、創作の部門を独立させるような形で僕の父が設立しました。明確にアートという部分に特化した形で立ち上がり、利用者(以下、メンバー)も創作に興味のある方たちが移ってきてくれて現在まで続いています。当時、30年前はアートが仕事になるという感覚が世の中としても低かったので、ボールペンを組み立てるといった作業的な活動の方が圧倒的に優位ではありましたが、しかし、めげずに彼らの作品を世に発表していく中で、うちの子が描いた絵が売れるんだというところから親御さんもアートに可能性を見出し始めてくれました」とクーカの成り立ちを教えてくださいました。

メンバーの「こうありたい」を見極めて表現にしていこう

気軽に立ち寄れるコミュニティの拠点を目指しているクーカは1階スペースのために、作品展、デザイン提供等をずっとやってきていますが今年の1月に印象的な仕事がありました。平塚市の競輪場のイメージアップを目的として20メートル弱の壁2面にメンバーの絵を使ったデザインを提供しました。メンバーには下書きのあと新聞社やタウンニュースの報道陣の前で色を塗ってもらいました。「人前で絵を描くことで輝く才能もあると実感しました」と語ります。「こうした体験を積んでいくことで、私自身、そして本人とその周りの人たちの『障がい』に対する見方が変わってきます。みんなが生み出す本当に良い作品に、純粹に『すごい』と敬意を払っていい。ただ手放しになんでも素晴らしいとするのではなく本当に良いと思ったものをより洗練してアウトプットしてい

ペースをギャラリーとして開放しています。クーカ内にながらギャラリーに訪れたお客さんとの、様々な出会いを経験できることを大切にしているそう。設立当時の福祉施設としてはまだ珍しく、クーカは市街地に誕生しました。「市街地にできたことで、いわゆる障がい者と言われる人、健康者と言われる人との摩擦が生まれていきます。コミュニケーションを取りたいと思っても、どう伝えたらいいかわからない。30年前に比べれば大分良くなった、のかもしれない。本質的には社会状況は大きく変わっていないのではないかと思います。クーカには『座って黙々と絵を描くこと』を大切にしている人」もいれば、『積極的



各1名様 PRESENT



- D オリジナルポストカード 3枚セット 1名様
- E オリジナルミニポーチ & 缶バッジ 1名様

詳しくは31ページ

studio COOCA
「好きなこと、得意なことで輝く、いろんなフィールドでその人が『生きる』場所を見つける。」を掲げ、社会への発信、地域とのつながりを目指して活動している。
<https://www.studio-cooca.com/>



あとから見れば、 成長したな」と 思える時が来る



漫画「僕の妻は発達障害」の作者・ナナトエリさんと亀山聡さん。お二人はご夫婦で漫画を描かれていて、妻のナナトさんには発達障害があります。漫画を制作した背景や、お二人の普段について、そして当事者として読者の皆さんへのメッセージを頂きました。

自分たちの関係を漫画にしてみたら という提案から

ナナトさん、亀山さんご夫妻はお二人で漫画を描いています。妻のナナトさんには発達障害がありますが、「僕の妻は発達障害」を制作することになった経緯はなんでしょうか。「私の発達障害が診断が出て少し経った頃に、新潮社に新しい漫画の企画の持ち込みをしていたんですよね。その際、『発達障害がい者と健常者の夫婦という二人の関係を描いた方が面白いのではないかと』と担当編集の方に言われ、『描いてみます』と、制作することになりました」とナナトさん。「障がいのことを広めよう!というような使命

感というよりも、興味を持ってもらえるならその方がいいかなという感じで始めました」と亀山さんが話します。

綺麗ごとじゃない、
当事者だからこそ描ける漫画に

「障がいがあってもなくても人は違っても当たり前だと思うので、一方的に否定せず、お互い様だとなるところが大事だと思っています。例えば、ある日ふと相性のいい人に出会って生きやすくなることもあるし、全ての問題までは解決せずとも、日々すり合わせていけることがあるという希望のようなものを漫画の中では描きました。何よりも、当事者を傷つけるような漫画にはしたくないと思

いました。前向きになれることを描きたくても、私たちは当事者としての辛さがかかっている綺麗ごとにならないように。編集さんには、漫画表現を求められることもありましたが、誇張により当事者を傷つける表現になる可能性があるもので、そういう姿勢は変えたくなりました」とナナトさんは語ります。「どうしても障がいを描くことになると話が重くなったり、下手すると単純に可哀そうな人という一面的な描かれ方をしてしまうので、そうならないように、読んだ人が「ちょっと頑張ってみよう」と元気が引き出されるような感じにしたいねと話し合いながら描いていました」と亀山さん。



さった当事者の方もたくさんいてありがたい限りでした」。

ともに歩む戦友。時に出る
互いへの負の感情には対策を

お互いを仕事の相方で戦友と語る、お二人。好きなことは漫画(仕事)と、傍から見てもいいコンビなのだと感じます。「二人で一つの漫画を描いているのは、漫画家の中でも珍しい方だと思えます。二人とも本当に昔から夢だった漫画家になれたので、頑張って続けられるようにしている」という感覚で、まさにパートナーです。今後二人でどうしていきたいかとか具体的な構想があるわけではないですが、とにかく漫画家として生き残っていきたくらなと思います」と亀山さん。「普段、



漫画や映画を見る時は、私はこだわりが強いので、好みの幅は狭いのですが、彼はその点でも広いんです。なので、割と何でも楽しんでくれて心地良いですね」。

一方で、大変な場面はお互いによろしくしているのでしょうか。「彼女は多動で多弁なので、僕が視界に入るととにかく話しかけられるんです。それが続く」と正直しんどい時はあります。今は家を引っ越して、『構造化』という部屋の造りで物理的に離れられる空間を作ること

入れられる社会になってほしいと語るナナトさん。当事者の彼女の目線としてはもちろん、家族という目線で様々な経験をした亀山さんも「多くの人にもっと関心を持ってほしい」と言います。「社会の関心も、短期間では変わっていないようでも、長いスパンで見れば、徐々に変わっていくのかなと希望を持っていくの」と思います。僕自身も適応していくのに時間が必要だったし、自分がちゃんとしなきゃというような変なハードルを上げないことですね。中長期で見れば折り合いがついて収まることも多いはず。諦めずに粘り強くやっていただけたいと思います」。

「自分の感覚ではありますが、年を取っていくごとに少しずつ成長したなっていう感覚があるんです。子ども時代や若い頃は社会と上手くいかなくて辛い経験をしましたが、そこを乗り越えれば、自分なりの生き方を見つけて、少しずつ社会や人に歩み寄れるようになっていくはず。そして、親御さんには普通にこ

だわらないであげてほしいです。あれができない、これができない、ということがあっても、ある日ふと自分に必要な人や物事に出会えることがあったりするんです。その希望を捨てずにいてほしいなと思います」とナナトさんと亀山さんの熱い言葉をいただきました。

障がい者も健常者も 少しずつ成長していける

発達障害が普通に存在すると受け

ずです。そして、親御さんには普通にこ

3名様 PRESENT



サイン入り本
ナナトエリ・亀山聡著
漫画「僕の妻は発達障害」
(新潮社)1巻

詳しくは31ページ

ナナトエリさん 亀山聡さん

漫画家夫婦。代表作「僕の妻は発達障害」はドラマ化もされている。
「僕の妻は発達障害」全8巻発売中!

<https://kuragebunch.com/episode/13933686331620155104>

「ゲーマーズ×ダンジョン
〜僕はゲーム依存じゃない〜」
発売中!

<https://bigcomicbros.net/work/72847/>

